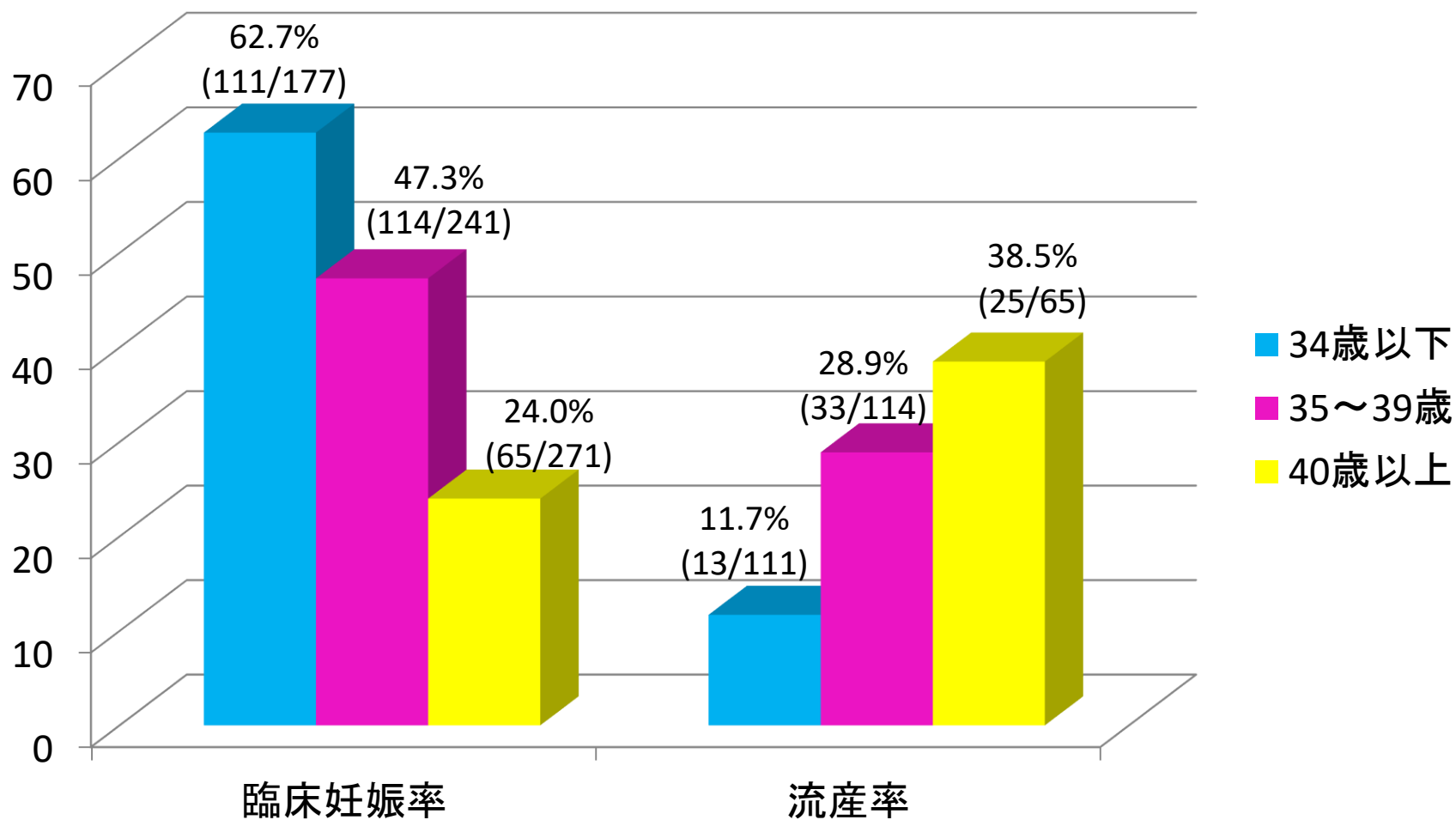
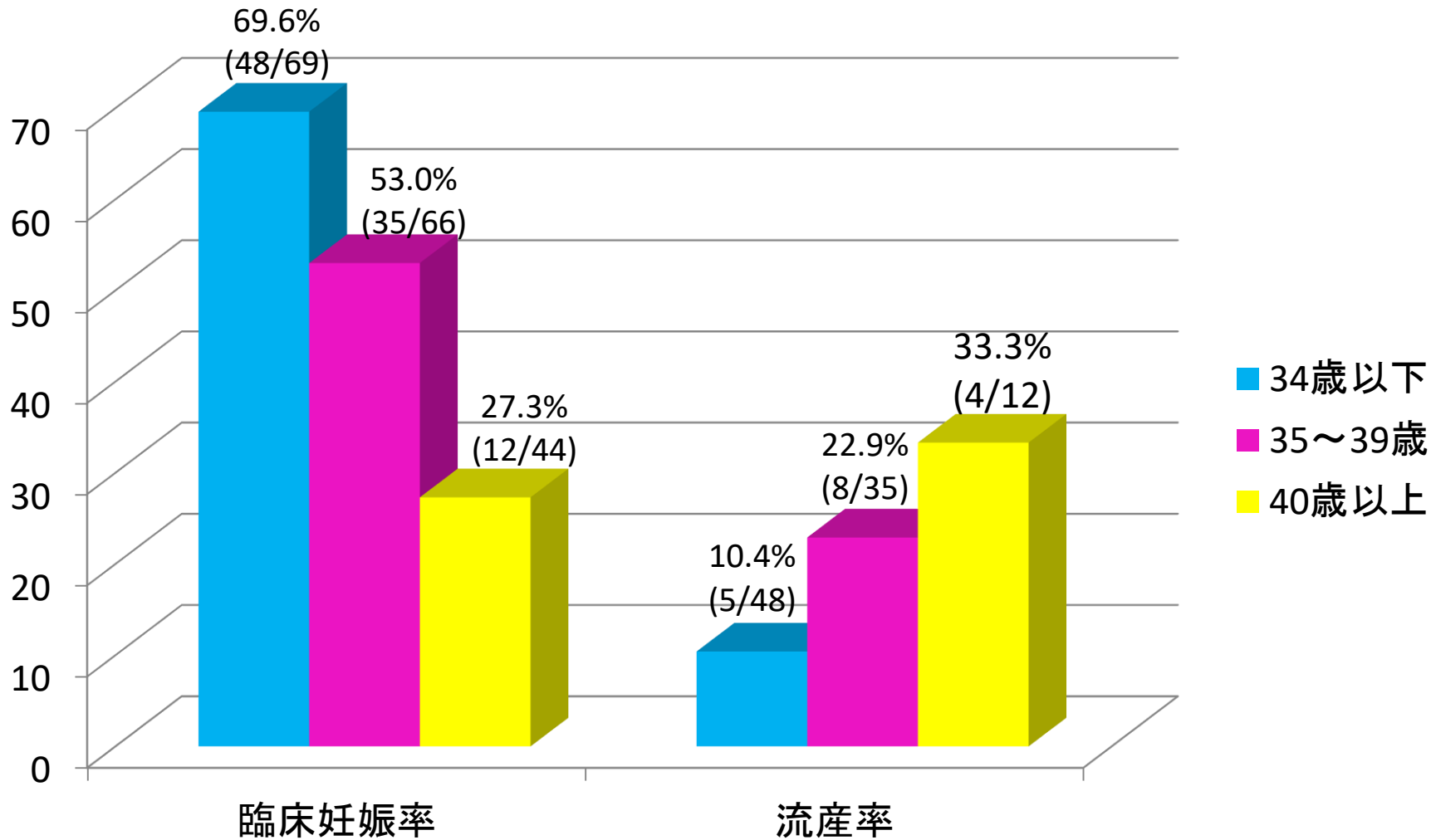


2016年の年齢別妊娠率および流産率

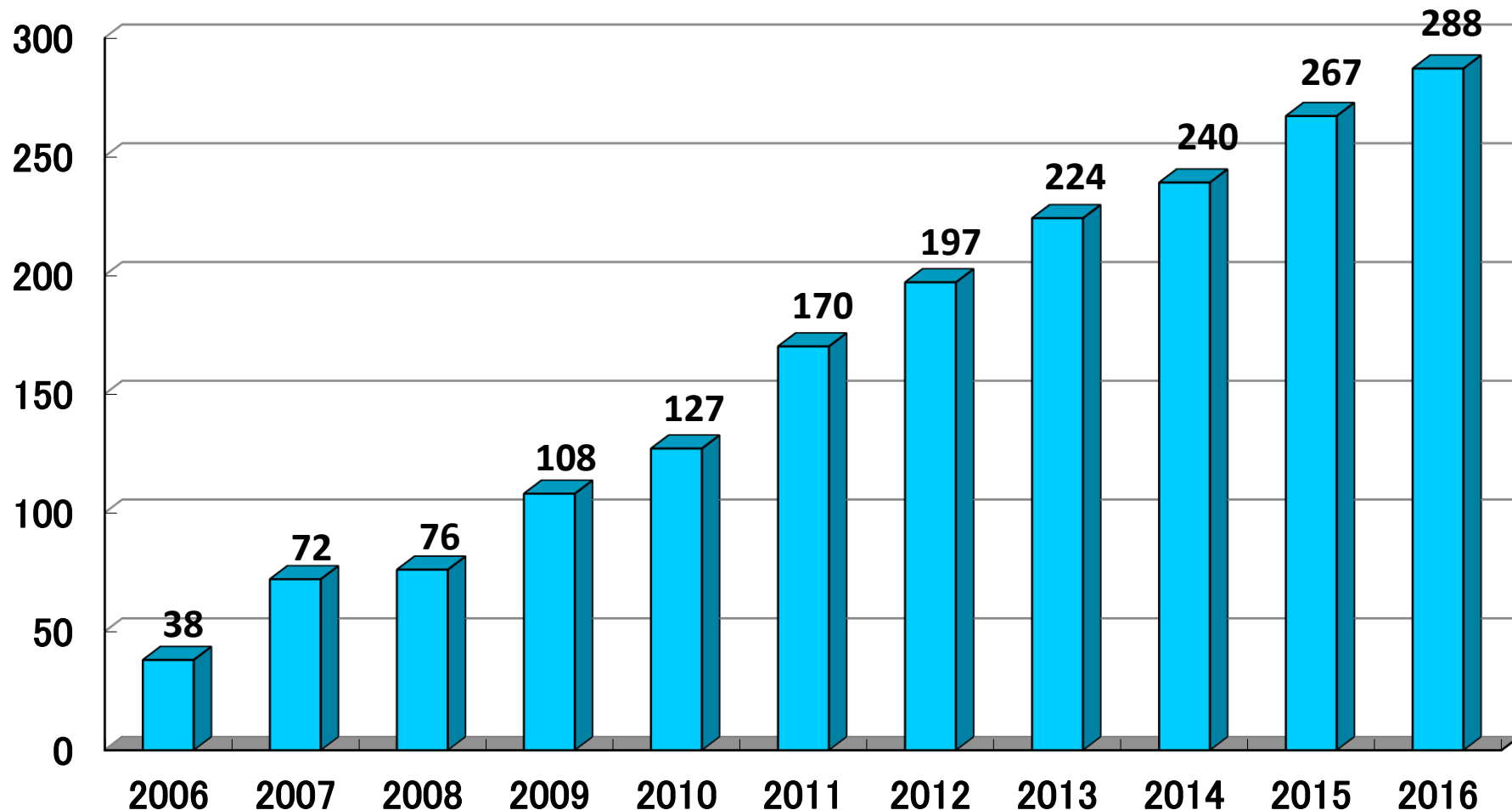


胚移植初回症例における2016年の 年齢別妊娠率および流産率



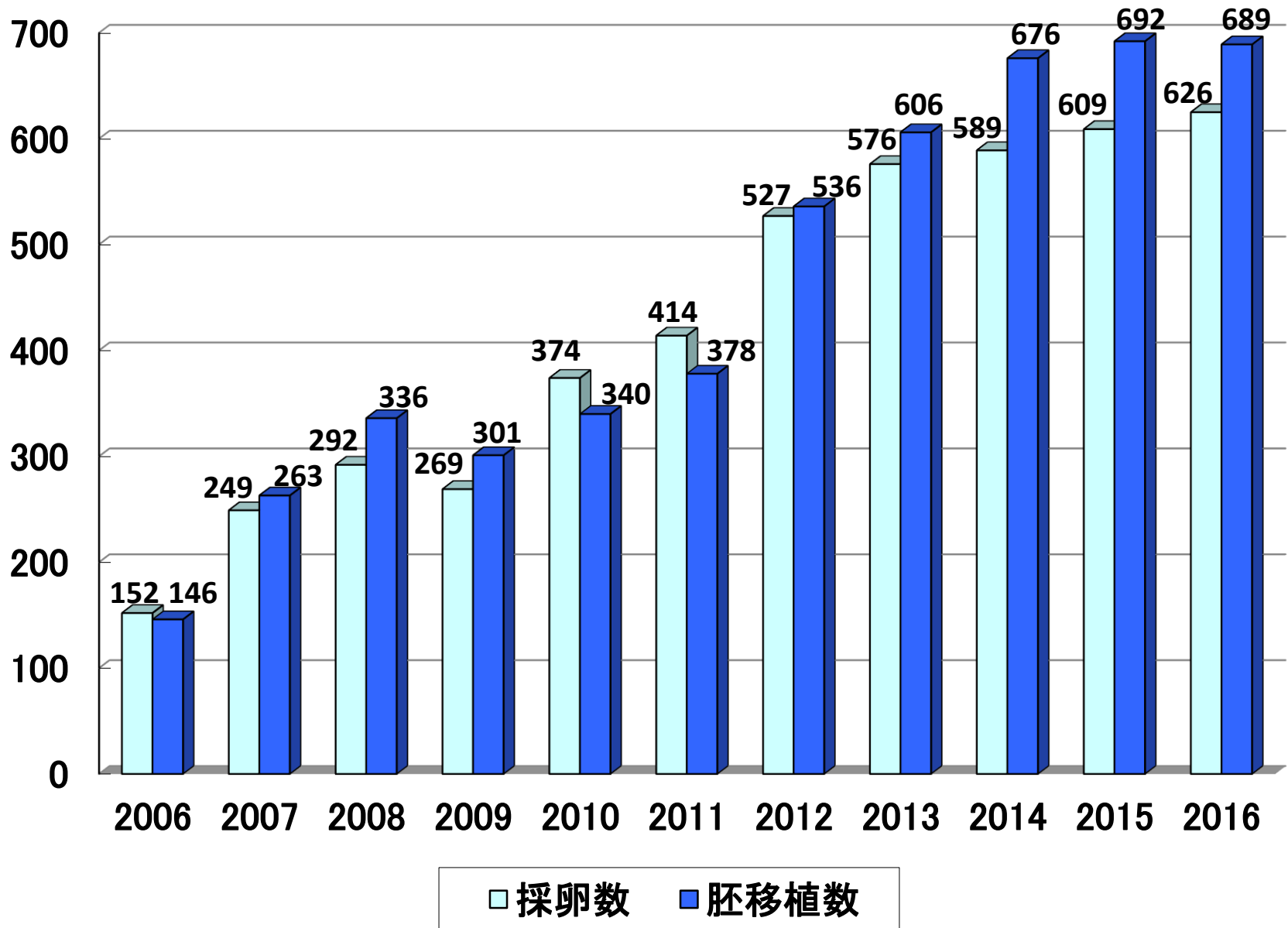
年別、臨床妊娠数(胚移植あたり)

年間臨床妊娠数は毎年増加しており、2016年は288名に達しました。
(臨床妊娠数は、超音波検査にて子宮内に胎嚢を確認した症例です。)



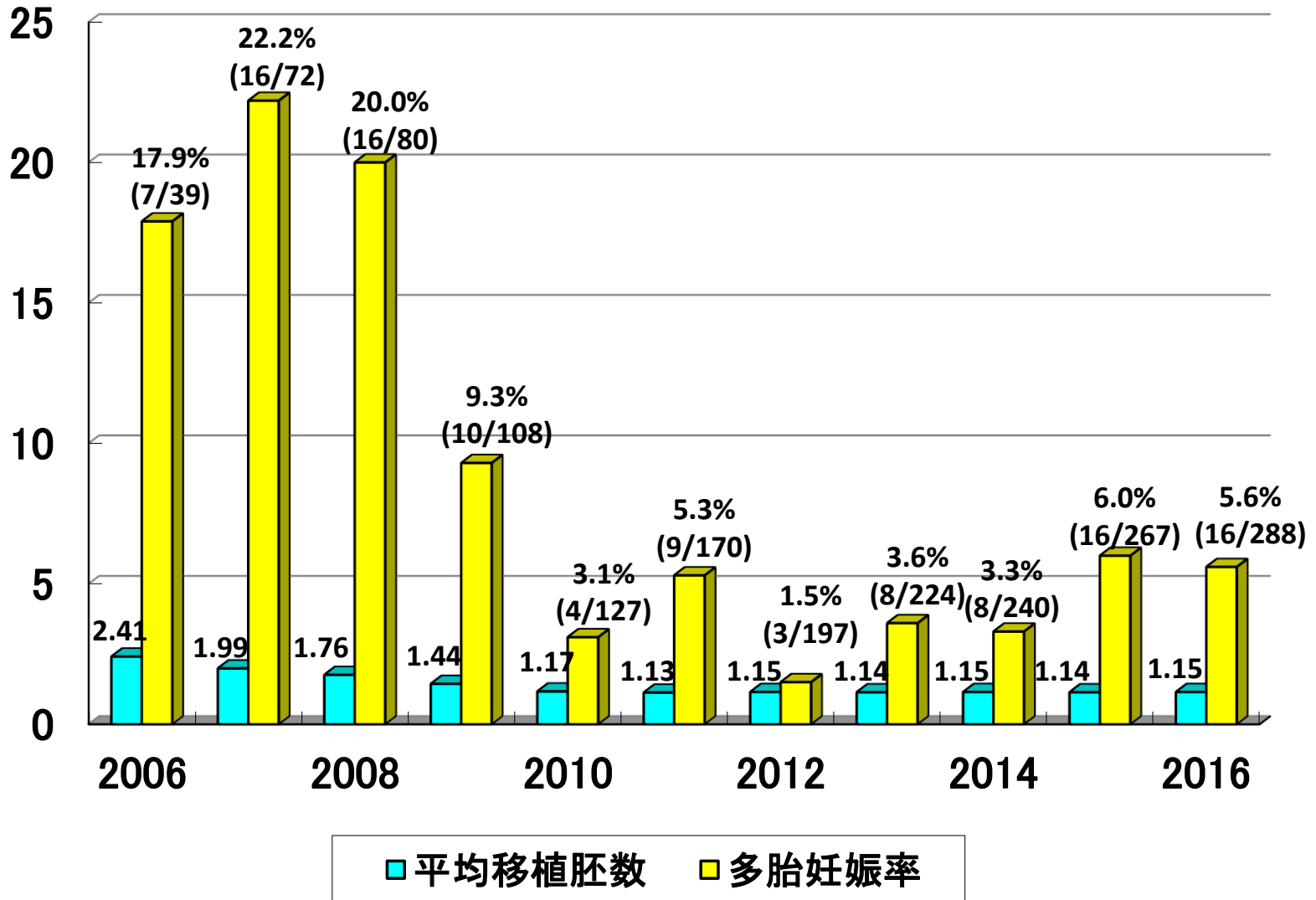
採卵数と胚移植数の年次推移

2016年は採卵数が626例、胚移植数689例に達しました。



平均移植胚数と妊娠当りの多胎妊娠率の年次推移

平均移植胚数は毎年減少してはきましたが、2010年からは横ばいとなっています。多胎妊娠率も、低値を維持しています。

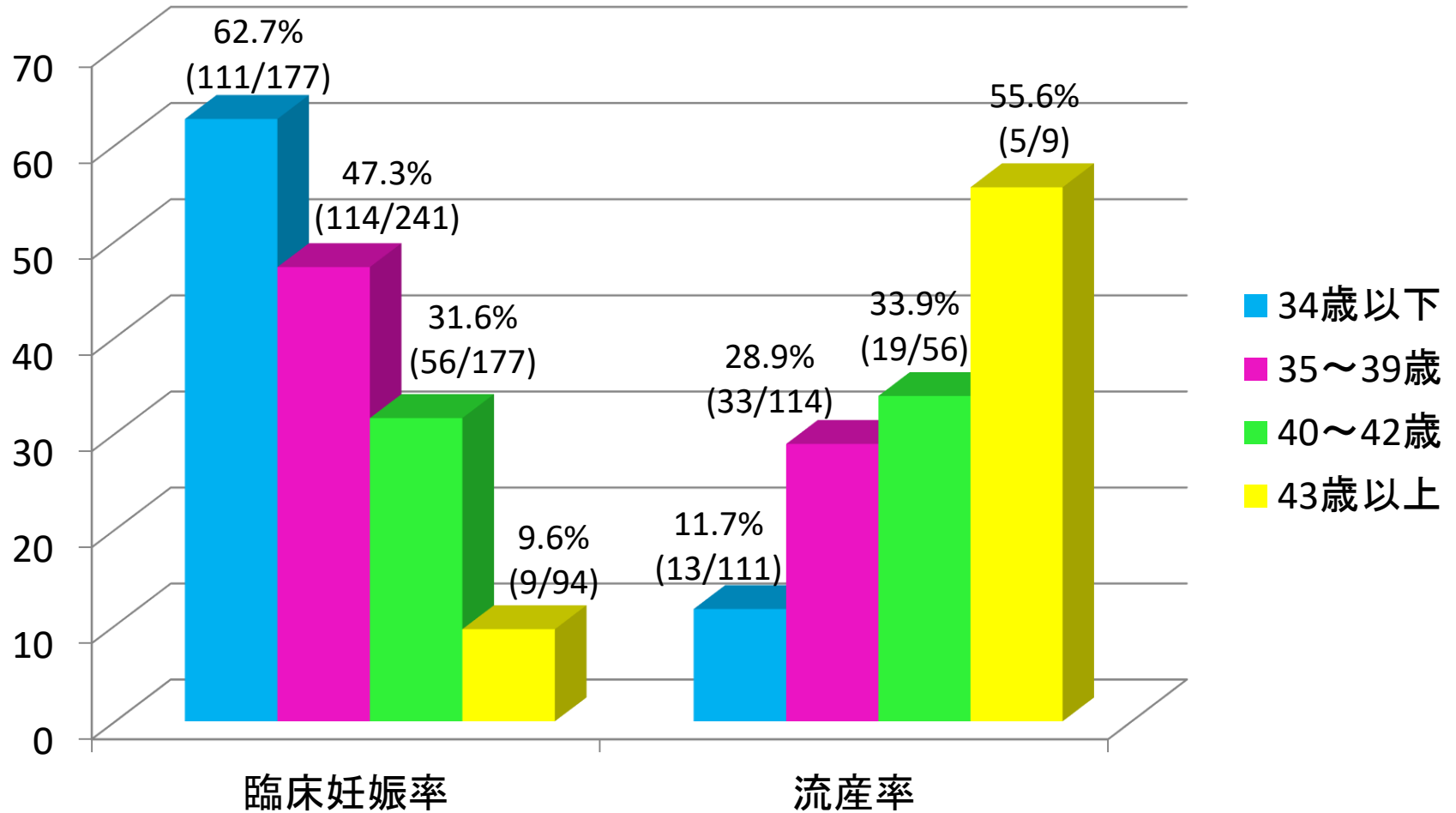


2016年 ART治療成績

- ・採卵数:626周期(初回症例:236周期)
体外受精...245周期・顕微授精...325周期・
体外受精＋顕微授精...29周期
- ・胚移植:689周期
(新鮮胚移植 77周期、凍結胚移植 612周期)
平均移植個数 1.15±0.36個
平均年齢(胚移植あたり) 37.6±4.6歳
- ・妊娠:288周期(妊娠率:41.8%)
(34歳以下 62.1%、35～39歳 46.5%、
40～42歳 32.2%、43歳以上 9.6%)
- ・妊娠反応陽性率:48.9%(妊娠反応陽性数 337例)
- ・多胎妊娠率:5.6%(多胎妊娠数 16例)
- ・流産率:24.7%(流産数 71例)

- ・タイミング療法:妊娠数 94例
- ・人工授精:症例数 901周期 妊娠率:6.3%(57例)

2016年の年齢別妊娠率および流産率



胚移植初回症例における2016年の 年齢別妊娠率および流産率

